

弟ま地第 12 号  
令和5年4月26日

内閣総理大臣 殿

弟子屈町長 徳永 哲雄

アイヌ施策推進地域計画 中間目標評価報告書

アイヌ政策推進交付金事業実施要綱（令和元年9月6日付け府ア推第5号）第3条第3項に基づき、アイヌ施策推進地域計画の中間評価結果について別紙のとおり報告します。

（担当：まちづくり政策課地域振興係）

アイヌ施策推進地域計画 中間目標評価報告書

実施主体名	計画の名称	(中間) 目標年度
弟子屈町	弟子屈町アイヌ施策推進地域計画	(中間)令和4年度 (目標)令和6年度

1. 目標の達成状況

アイヌ施策推進地域計画における (中間) 目標	目標値 A	実績値 B	達成率 (%) B / A	備考
屈斜路コタンアイヌ民族資料館入館者数 (屈斜路コタン地区アイヌ文化等拠点整備事業) (屈斜路コタンアイヌ民族資料館誘客対策事業) (屈斜路コタンアイヌ民族資料館展示解説多言語化事業)	870 人/ 月平均	721 人/ 月平均	82.9%	
生活館利用者数 (屈斜路コタン地区アイヌ文化等拠点整備事業)	50 人/ 月平均	51 人/ 月平均	100.0%	

アイヌ施策推進地域計画における (中間) 目標	達成状況	備考
屈斜路コタンアイヌ民族資料館入館者数 (屈斜路コタン地区アイヌ文化等拠点整備事業) (屈斜路コタンアイヌ民族資料館誘客対策事業) (屈斜路コタンアイヌ民族資料館展示解説多言語化事業)	新型コロナウイルス感染症の影響によって令和2年度以降は入館者数が大きく減少しており、令和4年度は回復傾向にあったものの目標値までには至っていない。	
生活館利用者数 (屈斜路コタン地区アイヌ文化等拠点整備事業)	新型コロナウイルス感染症の影響によって令和3年度に利用者数が大きく減少したが、令和4年度は例年と同程度の利用数に回復し目標値に達している。	

(コメント)
アイヌ民族資料館については、観光入込客数と同様に新型コロナウイルス禍における国内旅行の減や入国規制によるインバウンドの激減により入館者数を大きく減らしていたが、コロナ禍が落

ち着き始めた令和4年度下半期からは徐々に回復しており、令和5年度以降も目標値を変更することなく関連事業を推進していく。生活館については、中間目標までは特段の事業を実施していないが、令和5年度以降に予定している施設整備事業を推進することで目標値を達成する準備が整えられた。

## 2. (中間) 目標達成のために実施した各事業の進捗状況と効果

### 観光振興その他の産業の振興に資する事業

事業の進捗状況	事業実施主体
<p>●令和2～4年度 屈斜路コタン地区アイヌ文化等拠点整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・屈斜路コタン地域に居住するアイヌの人々との検討を中心に、今後におけるアイヌ文化拠点整備事業の指針となる「屈斜路コタン地区アイヌ文化等拠点整備事業基本計画」を策定した。</li> <li>・上記基本計画による整備事業を進めるための基礎となる測量及び地質調査を実施した。</li> </ul> <p>●令和2年度 屈斜路コタンアイヌ民族資料館誘客対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行客車両の往来が多い国道及び道道に誘導案内看板を計3基設置した。</li> </ul> <p>●令和2年度 屈斜路コタンアイヌ民族資料館展示解説多言語化事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・増加傾向にあった外国人旅行者等への対応を充実する為に6か国語の音声翻訳による展示解説(ユニボイスコード)を導入した。</li> </ul>	弟子屈町
<p>事業の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・屈斜路コタン地区アイヌ文化等拠点整備事業では、コタン地区全体のゾーニングを踏まえた施設の配置や活用方法について活発な意見が交わされた。また、本計画の策定により地域のアイヌ文化を次世代に継承していく気運も高まり、アイヌ民族有志らによって地域の歴史を掘り起こす動きが出てくるなど、今後は施設整備後の利活用を念頭に置きながら効果的な地域振興策を展開する事が出来る。</li> <li>・屈斜路コタンアイヌ民族資料館誘客対策事業及び屈斜路コタンアイヌ民族資料館展示解説多言語化事業では、両事業と同時期に発生した新型コロナウイルス禍の影響により事業実施後の効果には繋がらなかったが、今後のアフターコロナにおける観光入込の回復に際しては、誘導案内看板による国内旅行者の入館増や、多言語解説による外国人旅行者への対応強化によって、アイヌ文化の理解促進に資する効果を大きく見込めるものである。</li> </ul>	

## 3. 今後の方針等

### (コメント)

コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、計画全体の進行に遅れが生じているが、このような状況下においても地域のアイヌ文化を掘り起こしていく様な新たな動きが出てくるなど、今後の整備計画との相乗効果も期待できる新たな取組みがなされていることから、適切な計画管理によって引き続きアイヌ施策事業を推進し目標値を達成していく。

